

市長の伊賀じまん



－ 見徳寺 木造薬師如来坐像 －

今回は、中友生にある見徳寺が所蔵している薬師如来坐像の話です。像高が65.7cmあるクスノキの一木造で、大変古いものです。飛鳥・白鳳時代の作として県の指定文化財になっていて、三重県内でももっとも古く、日本の木造仏像の中でも5番以内に入ると言われています。

これまでは上野歴史民俗資料館（上野丸之内）にありましたが、大変価値の高いものであり、最適な状態で保存するため、今後は奈良国立博物館で展示される予定です。

見徳寺の創建は江戸時代以降と考えられていますから、この仏像はもともと別の寺が所有していたもので、見徳寺では「客仏」として境内の小さなお堂に安置されていました。

この薬師如来坐像がもともとどこにあったのかは不明ですが、私は大山田の鳳凰寺の廃寺、現在の薬師寺ではないかと推測しています。これは私独自の珍説ですが、この寺は白鳳時代からあるもので、ご本尊は薬師如来ですから、ごく自然なことのようには思います。

奈良県の法隆寺には飛鳥時代の作の六観音がありますが、見徳寺の薬師如来坐像は、法隆寺の六観音に作風や表情が似ていて、童顔のあどけない顔立ちをしておられます。「法隆寺の仏像を作った仏師たちが作ったものなのかもしれない」などと空想してみるのも楽しいものです。

天正伊賀の乱などの戦乱があったこの伊賀の地に、飛鳥・白鳳の時代の仏像が残っているというのはとても貴重なことです。市内には、平安時代から鎌倉時代にかけての国や県の指定文化財になっている仏像がたくさんあります。それを見た仏像ファンでも、見徳寺の薬師如来坐像を拝観した人は少ないのではないのでしょうか。展示されたら、ぜひ一度奈良国立博物館に出向いてみてください。



防災ねっと

冬の防災対策



台風による暴風雨や突然の豪雨が発生する可能性が高い夏や秋と比べて、冬は災害が少ない時期と言えます。しかし、季節を問わない地震や冬だからこそ危険性が高まるものもあります。

■火災の防止

冬は空気が乾燥することに加えて、暖房器具の使用により火災が発生する危険性が高まります。



「洗濯物をストーブの上に干す」「石油ストーブの使用中に給油する」などの行為はやめ

ましょう。

■冬の交通事故

冬は日が暮れるのが早く、仕事や学校の帰りなど、暗くなってからの移動が多くなるため事故が増えます。また、積雪や路面凍結によってスリップ事故も増えるので車両の運転には注意しましょう。

■備蓄品に冬支度を

備蓄品には冬ならではのものがあります。非常持ち出し品や備蓄品に使い捨てカイロや毛布、防寒着などを用意しておきましょう。

【問い合わせ】 総合危機管理室

☎ 22-9640 FAX 24-0444

「あんしん・防災ねっと」 URL にアクセスすることで、災害時の緊急情報・避難所情報や休日・夜間診療所情報などを閲覧できるほか、携帯電話のメールアドレスを登録した人には、市から緊急情報メールを送信します。(http://www.anshin-bousai.net/iga/)

※携帯電話のバーコードリーダ機能で、QRコードを読み込んで登録できます。

※本庁・各支所・伊賀市社会福祉協議会（ふれあいプラザ）のほか、市内の各地区市民センターにおサイフケータイを利用した登録機を設置しています。簡単に登録できますのでご利用ください。



▲QRコード

伊賀警察署だより



年末・年始の犯罪・交通事故にご注意を!!

年末・年始は、銀行などの金融機関やコンビニエンスストアを狙った強盗、街頭でのひったくり、駐車車両への車上ねらいなどが発生しやすくなります。

被害を未然に防ぐために、日頃から防犯意識を持ち、被害にあわないように、次のことなどに気をつけましょう。

- 多額の現金を持ち歩かない
- バッグは車道と反対側の手に持つ
- 車から離れるときは必ず施錠をする
- 車内に貴重品を放置しない

また、年末年始は慌ただしく、帰省する車や初詣客の車など、交通量が増えて交通事故が多く発生します。運転手はちょっと早めのライトオンや適正な車間距離の保持に努めるとともに、歩行者は反射材を利用するなど、いつも以上に安全運転・防衛運転を心がけ、交通事故防止に努めましょう。

【問い合わせ】

伊賀警察署 ☎ 21-0110
名張警察署 ☎ 62-0110

公共交通を利用しましょう



駅イルミネーション&クリスマスコンサート

伊賀鉄道では、色鮮やかなオーナメントが駅舎を引き立てクリスマスムードを盛り上げる駅イルミネーションと、クリスマスコンサートが毎年恒例です。

今年はコンサートの舞台を新しくなった上野市駅前広場に移し、クリスマスソングの演奏や楽しいパフォーマンスを繰り広げます。もちろん伊賀鉄道のマスコット『ふくにん』も登場してくれますよ。

ぜひ、伊賀線にご乗車の上、おでかけください。

○駅イルミネーション

【と き】 12月2日(月)～25日(水)

【と ころ】 伊賀鉄道上野市駅・西大手駅

○駅イルミネーション点灯式

【と き】 12月2日(月) 午後5時30分～

【と ころ】 伊賀鉄道上野市駅

○クリスマスコンサート

【と き】 12月23日(月祝)

【と ころ】 伊賀鉄道上野市駅前広場

※時間など詳しくはお問い合わせください。

【問い合わせ】 企画課 ☎ 22-9621 FAX 22-9628



明日に向かって ～差別をなくしていくために～

差別をなくす主体者として —阿山支所住民福祉課—

■このコラムは毎回いろいろなテーマで人権についてお話しています。

以前参加した研修会でのことです。「同和問題をはじめとする人権問題の解決に向けて私たちには何ができるのか」というテーマで講師が話した中で、「『行動しない』ことも『行動』である」という話が強く印象に残りました。

私たちは普段、自らの判断で、責任を持って行動しており、その一人ひとりの行動が社会の流れを作っています。その中で人権問題に関して、「私は差別と出合ったこともない」「私自身は差別をしないから関係ない」といった無関心な態度をとることは、人権問題に関して何も行動していないようで、実際は、自分で判断して行った社会の流れをつくる行動のひとつであるとも考えられます。

現実には、同和問題をはじめとするさまざまな人権問題が存在しています。人権問題に対して無関心な行動をとることが、目の前で起こっている人権問題に気づかず、見逃してしまい、温存させる

ことにつながっているのではないのでしょうか。

では、人権問題を解決していくために、私たちにはどんな行動ができるのでしょうか。

まず一人ひとりが、さまざまな機会を通じて学習などを進め、人権問題について正しい知識・認識を持つことが必要であると考えます。2009年度(平成21年度)に実施した人権問題に関する伊賀市民意識調査では、「人権問題に関する講演会や研修会、映画会などに過去5年間、参加したことがある」と答えた人は、31.5%しかなく、講演会などに参加している人は意外に少ないという結果が出ています。

現在は差別をなくす強調月間中で、市内でも人権に関するさまざまな事業が実施されています。皆さんも、この機会に参加して、自らが差別をなくす主体者として行動するきっかけにはいかがでしょうか。

■ご意見などは人権政策・男女共同参画課 ☎ 47-1286 FAX 47-1288 ✉ jinken-danjo@city.iga.lg.jp へ